

して法規集等。その当時は一般にPCが普及しておらず、私の職場にもPCは配備されていませんでした。PC普及以前の時代、業務は全てアナログ作業でした。今ではExcelで行っている表計算をその頃は手計算で、集計用紙に手書きで記入していました。最初のうちは支給された算盤を使っていましたがそのうち電卓を使用するようになりました。文書もほとんどが手書きで、た

まに英文タイプライターや和文タイプライターを使っていました。文書を手直しする時には書き直しが基本でした。アナログを全否定するつもりはありませんが手作業の表計算と和文タイプライターの使用は二度とごめんこうむりたいです。農水省8年目でやっと職場にパソコンが配備されるようになりました。30人につき2台です。その後分子研に移りましたが当初はまだイン

ターネットが導入されていませんでした。その後3～4年後でインターネットが導入され、e-mailアカウントが割り当てられました。

40数年間の経過で業務形態に大きな変化があるのは当たり前です。もっと短いスパン、20年程度でも大きな変化があるでしょう。変化の中には後戻りが出来ない類のものもあります。変化の方向性を読むことが大事でしょう。

IMS café



NEW STAFF

新人自己紹介

2025年12月1日着任

深 田 亮 平

ふかだ・りょうへい

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成研究部門 特命専門員

2025年12月より、ERATO山本量子キラル変換プロジェクトの研究推進員として着任いたしました。新しい環境で学ぶことの多い毎日ですが、周囲の皆様に支えていただきながら業務に取り組んでおります。研究者の皆様が研究に集中できる環境づくりを通じて、プロジェクトの推進に少しでも貢献できるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年1月1日着任

吉 田 朋 子

よしだ・ともこ

極端紫外光研究施設 光物性測定器開発研究部門
教授 (クロスアポイントメント)

1996年 京都大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)、1996年 名古屋大学工学部助手、2003年 名古屋大学大学院工学研究科助教授、2009年 名古屋大学エコトピア科学研究所准教授、2015年 大阪公立大学複合先端研究機構教授・人工光合成センター副所長、2024年～現在 名古屋大学大学院工学研究科総合エネルギー工学専攻教授、2026年 分子科学研究所 教授 (クロスアポイントメント)。※詳細はP.19をご覧ください。



NEW STAFF

新人自己紹介

2026年2月1日着任

池田 弥華

いけだ・みか

極端紫外光研究施設
技術支援員

2026年2月より極端紫外光研究施設（UVSOR）で働かせていただくことになりました。これまでは基礎生物学研究所の技術支援員として働いておりました。研究所が変わることで雰囲気は大きく変わりますが、前職から変わらず、様々なことに挑戦させていただける環境に身を置けることを、大変ありがたく感じております。まずは早く仕事を覚え、皆様のお役に立てるよう精進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年3月1日着任

坂本 昌代

さかもと・まさよ

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成研究部門 事務支援員

3月よりERATOプロジェクトの事務支援員として勤務させていただいております。以前はまったく異なる業界で23年間勤務しており、久しぶりの新しい環境に当初は緊張の連続でした。しかし、周囲の皆様が親切かつ丁寧に教えてくださるおかげで、最近は少しずつ業務にも慣れてまいりました。一日も早く皆様の力になれるよう、これからも精一杯努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

横山 利彦

よこやま・としひこ

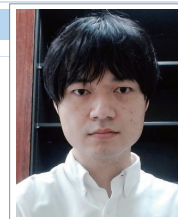
研究力強化戦略室
特任教授

令和7年度末で分子科学研究所教授を定年退職しました。分子研では24年にわたり皆様に大変お世話になりました。感謝申し上げます。今年度から文科省マテリアル先端リサーチインフラ（ARIM）事業と大学連携研究設備ネットワーク事業の責任者、機構本部の共創戦略統括本部のURAとして引き続き岡崎で勤務することとなりました。もうしばらくの間よろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

加藤 彰人

かとう・あきひと

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成部門 特任講師

2017年に京都大学にて学位取得後、分子研、学振PD、大阪公立大を経て、2026年4月より山本グループにて特任講師として着任いたしました。普段は、放送大学に常駐し、キラル物性理論、特に、キラル分子・結晶に内在する角運動量生成・交換過程の機構解明をテーマとして研究を進めています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

長谷川 源

はせがわ・げん

物質分子科学研究領域
電子物性研究部門 助教

2021年に東北大学大学院理学研究科物理学専攻博士課程を修了後、物質・材料研究機構でのポスドク研究員を経て、2026年4月より分子研清水グループに着任いたしました。専門は固体イオニクスで、リチウム二次電池材料におけるイオン輸送の研究に取り組んできました。今後は固体中の「イオンの動き」をキーワードに、薄膜材料の物性研究を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

北 智輝

きた・ともき

生命創成探究センター
創成研究領域 助教

2026年3月に東北大学で学位を取得し、4月より生命創成探究センター 生命分子設計化学研究グループの助教に着任しました。これまでは天然の機能性タンパク質の解析に従事してきましたが、現在はタンパク質の新たな機能設計に挑戦しています。どうぞよろしくお願いいたします。



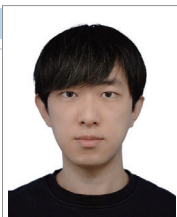
NEW STAFF

新人自己紹介

2026年4月1日着任

加藤 将 貴

かとう・まさき

協奏分子システム研究センター
機能分子システム創成研究部門 特任助教

2025年に東京大学理学系で博士を取得後、理化学研究所で基礎科学特別研究員を経て、現在ERATO「山本量子キラ変換プロジェクト」にて特任助教としてお世話になっております。主にキラル物質における輸送現象に関して、微視的理論構築や第一原理計算からアプローチしていきます。勤務先は東京都立大学となりますが、分子研での様々な相互作用を楽しみにしております。

2026年4月1日着任

横 澤 公 平

よこさわ・こうへい

物質分子科学研究領域 電子構造研究部門
若手研究者雇用特別研究員

東北大学で博士号を取得後、2026年4月より杉本グループにて博士研究員としてお世話になっております。博士課程では、タンパク質水溶液の液液相分離現象の顕微ラマン測定を行ってまいりました。分子研ではさらに相分離の界面に着目した研究を展開したいと考えております。従来よりも一層、物理化学に根差した生物学の発展を目指しておりますので、よろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

水 上 昂 紀

みずかみ・こうき

光分子科学研究領域
光分子科学第三研究部門 特任研究員

昨年度、大阪大学にて学位を取得し、本年度よりご縁をいただき、解良グループの特任研究員として加わることとなりました。博士課程では、レーザー光電子分光を用いた有機導体の電子状態観測に取り組んでまいりました。今後は、装置整備を進めながら、有機固体の電子状態研究に従事する予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

柳 井 毅

やない・たけし

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 客員教授

約20年前、分子科学研究所では准教授としてお世話になりました。このたび客員教授として再び関わる機会をいただき、うれしく思っております。分子研時代を含め、これまで量子化学理論・計算化学を専門とし、電子状態理論の開発と分子科学への応用に取り組んできました。分子科学の新たな展開に貢献し、若手研究者・学生の育成にも力を入れていきたいと考えています。

2026年4月1日着任

泰 岡 顕 治

やすおか・けんじ

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 客員教授

1997年に名古屋大学で博士号を取得し、理化学研究所を経て、1998年より慶應義塾大学理工学部助手に就任しました。その後専任講師、助教授を経て、2010年より教授職にあります。専門は分子シミュレーション全般で、液体、ソフトマター、生体高分子など様々な系の計算を行い、計算の高速化や機械学習を用いた自動解析も取り組んでいます。分子研の皆さんと共同研究などができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年4月1日着任

森 俊 文

もり・としふみ

理論・計算分子科学研究領域
理論・計算分子科学研究部門 客員准教授

2020年まで分子研で助教をしてまいりました。九州大学先端物質化学研究所・准教授を経て2026年3月から京都大学工学研究科に移りました。専門は理論化学で、主に生体分子を対象として化学反応とダイナミクスの研究を行っています。6年前とはずいぶん分子研の顔ぶれも変わりましたが、新しい方々ともこれを契機に交流して、客員として少しでも貢献できればと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



2026年4月1日着任

鈴木 泰成

すずき・やすなり

光分子科学研究領域

光分子科学第四研究部門 客員教授



2018年に東京大学大学院 工学系研究科 物理工学専攻で博士課程を修了し博士（工学）を取得、同年にNTT研究所に入社しました。2025年より理化学研究所 量子コンピュータ研究センターにてチームディレクターを務めています。学生の頃より量子計算機の研究開発に従事し、特に誤りに耐性のある量子計算機を開発、実装するためのソフトウェアやシステムの研究開発に取り組んでいます。

2026年4月1日着任

平岡 秀一

ひらおか・しゅういち

生命・錯体分子科学研究領域

生命・錯体分子科学研究部門 客員教授



東京大学大学院総合文化研究科教授として、超分子化学・自己集合・反応ネットワーク科学の研究を進めています。1998～1999年には分子科学研究所で研究する機会をいただきました。現在は、反応ネットワークがどのように分子機能を創発するのかを実験と理論の両面から研究しています。再び分子研の一員として研究交流に貢献できることを楽しみにしています。

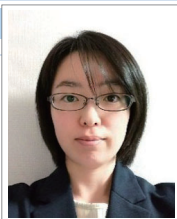
2026年4月1日着任

穂積 知佳子

ほづみ・ちかこ

生命創成探究センター

創成研究領域 技術支援員



学生時代は分裂酵母を用いた寿命と老化に関する研究を行い、その後は食品メーカーにてLC/GC/MSを用いた残留農薬や香気成分の測定などを行っていました。

子育てによるブランクを挟んだ後、2024年9月から派遣職員として加藤グループに所属して参りましたが、この度技術支援員となりました。引き続き研究に貢献できるよう努めてまいります、よろしくお願いいたします。

2026年5月1日着任

今田 裕

いまだ・ひろし

メゾスコピック計測研究センター

繊維計測研究部門 教授



表面科学を基盤に、走査プローブ顕微鏡とナノ光学を融合した単一分子・量子ナノ科学を専門とし、理化学研究所、韓国のGISTを経て研究を展開してきた。光・電子・スピンなど、異なる量子自由度間の変換に注目し、分子の量子的個性の本質的な理解を進めている。さらに、それらを組み合わせた新機能の創出と、原子スケールからメゾスケールへと広がる不均一・複雑系における新たな物理の開拓を目指している。趣味はフットサル。※詳細はP.18をご覧ください。

2026年5月1日着任

藤村 真理子

ふじむら・まりこ

研究力強化戦略室

特任専門員



2026年5月より大森グループにて特任専門員としてお世話になっております。以前は（株）豊田中央研究所にて、知的財産戦略・管理、法務、コーポレートガバナンスの業務に従事しておりました。この度、縁あって地元である岡崎にてこれまでの経験を活かす機会をいただきました。皆様の研究が円滑に進むよう、微力ながら研究マネジメントをサポートしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

2026年5月1日着任

栗田 吉啓

くりた・よしひろ

装置開発室

技術支援員



5月より装置開発室にて3Dプリンターを使った造形・出力を中心とした業務を担当しています。昨年、外資系企業のプラスチック成形工場を退職後に三河高等技術専門学校3Dモデリング科で3DCADオペレーターの基礎と機械設計、製図等について講座を修了しました。今回の就職は新しい環境でのチャレンジになりますが、一日一日を楽しみながら、少しでも早く戦力になれるよう努めたいと思っています。